

# Expander for ASP.NET Web Forms

2018.04.12 更新

グレースィティ株式会社

## 目次

<a href="#">製品の概要</a>	2
<a href="#">ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ</a>	2
<a href="#">主な特長</a>	3
<a href="#">クイックスタート</a>	4
<a href="#">手順 1: ページへのコントロールの追加</a>	4-5
<a href="#">手順 2: コントロールへのコンテンツの追加</a>	5-6
<a href="#">手順 3: コントロールの外観と動作のカスタマイズ</a>	6-7
<a href="#">C1Expander の要素</a>	8
<a href="#">ヘッダー要素</a>	8
<a href="#">コンテンツ要素</a>	8-9
<a href="#">デザイン時のサポート</a>	10
<a href="#">C1Expander スマートタグ</a>	10-11
<a href="#">C1Expander コンテキストメニュー</a>	11
<a href="#">C1Expander の外観</a>	12
<a href="#">テーマ</a>	12
<a href="#">ヘッダーとコンテンツのテンプレート</a>	12
<a href="#">拡張と縮小</a>	13
<a href="#">初期の拡張状態</a>	13
<a href="#">拡張の方向</a>	13-14
<a href="#">タスク別ヘルプ</a>	15
<a href="#">コードによる C1Expander の作成</a>	15-16
<a href="#">ポストバックの設定</a>	16-17
<a href="#">キーボードサポートの追加</a>	17
<a href="#">テーマの設定</a>	17-18
<a href="#">コントロールのサイズ変更</a>	18
<a href="#">外部コンテンツの表示</a>	18-19

## 製品の概要

**Expander for ASP.NET Web Forms** は、さまざまなアニメーション効果を使用して、拡張パネルに埋め込まれたコンテンツ、または外部コンテンツを表示または非表示にします。拡張する内容は、Expander のヘッダをクリックすることで、表示または非表示にすることができます。

## ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ

ComponentOne for ASP.NET Web Forms の各コントロールで共通したトピック、アセンブリの追加、テーマの適用、クライアント側情報などについては「[ASP.NET Web Forms ユーザーガイド](#)」を参照してください。

## 主な特長

**Expander for ASP.NET Web Forms** は、さまざまなアニメーション効果を使用して、拡張パネルに埋め込まれたコンテンツ、または外部コンテンツを表示または非表示にします。拡張 **C1Expander** には、以下のような一意の機能が複数含まれています。

- **拡張方向**

**C1Expander** は、様々な方向に拡張できます。**ExpandDirection** プロパティを使用してコントロールの拡張方向を示し、**上、右、下、左** に拡張するかどうかを指定することができます。詳細については、「[Expand Direction](#)」トピックをご参照ください。

- **外部コンテンツ**

**ContentUrl** プロパティを使用して、C1Expander コントロールに外部コンテンツを表示できます。これは、プロジェクト内の別の Web ページのコンテンツや、他のプロジェクトの Web サイトのコンテンツさえも、**C1Expander** コントロールに表示できることを意味します。詳細については、「[外部コンテンツの表示](#)」を参照してください。

- **アニメーション効果**

C1Expander は線形または弾性緩和などの組み込みのアニメーション効果を提供し、効果はコントロールが拡張または縮小状態に設定されている際に設定できます。組み込みのアニメーション遷移オプションを使用してアニメーションが遷移する方法をカスタマイズできます。また、アニメーション効果の継続時間なども変更できます。

- **ページロード時の拡張**

**Expanded** プロパティを使用することによって、**C1Expander** コントロールをページロード時に最初から拡張するかどうかを選択できます。デフォルトでは、**Expanded** プロパティは **True** に設定され、コントロールは最初から拡張して表示されます。詳細については、「[初期の拡張状態](#)」を参照してください。

- **テーマ**

スマートタグを単にクリックして、6種類のプレミアムテーマ (Arctic、Midnight、Aristo、Rocket、Cobalt、および Sterling) のいずれかを選択して外観を変更します。オプションとして、jQuery UI から ThemeRoller を使用してカスタマイズしたテーマを作成します。

- **CSS のサポート**

CSS (Cascading Style Sheet) のスタイルを使用して、カスタムスキンを定義します。また、CSS を使用することで、御社の基準を元に Expander の変更は可能になります。

## クイックスタート

このクイックスタートでは、**C1Expander** コントロールの機能について学びます。**C1Expander** はいくつかの組み込みアニメーション効果によってコンテンツを拡張/縮小する機能を提供します。

## 手順 1: ページへのコントロールの追加

この手順では、Web サイトを作成して設定し、8つの **C1Expander** コントロールを追加します。**C1Expander** コントロールを Web サイトに追加するには、以下の手順を実行します。

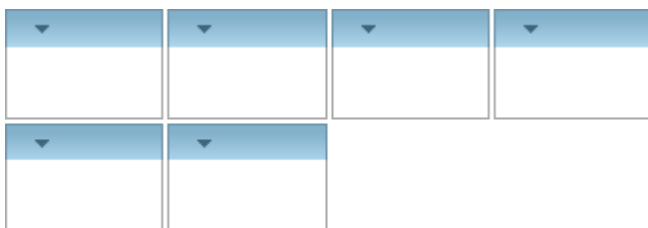
1. Visual Studio で、[ファイル]→[新規作成]→[プロジェクト]を選択します。[新しいプロジェクト]ダイアログボックスが表示されます。
2. [新しいプロジェクト]ダイアログボックスの左ペインから言語を展開し、テンプレートリストから[Web]を選択します。右ペインから[ASP.NET Webアプリケーション]を選択し、プロジェクトの名前を入力し、[OK]をクリックします。新しいアプリケーションが作成されます。
3. ソリューションエクスプローラ でプロジェクトを右クリックして[参照の追加]を選択します。
4. [参照の追加]ダイアログボックスでは、「C1.Web.Wijmo.Controls」と「C1.Web.Wijmo.Controls.Design」アセンブリを見つけて[OK]をクリックします参照ファイルが追加されます。
5. ソリューションエクスプローラ でプロジェクトを右クリックして[追加]→[新しい項目]を選択します。
6. [参照の追加]ダイアログボックスでは、「インストールされたテンプレート」から「Web フォーム」を選択し、項目を 'Default.aspx' と名前付けて[追加]をクリックします。新しいページが表示されます。
7. ソースビューで、次の DIV タグをページの本文、ページの最初の<div> タグと</div> タグの間に追加します。

### ソースビュー

```
<div id="row1" style="width: 550px; float:none; clear:both;">
  <div id="box1" style="float:left;"></div>
  <div id="box2" style="float:left;"></div>
  <div id="box3" style="float:left;"></div>
  <div id="box4" style="float:left;"></div>
</div>
<div id="row2" style="width: 550px; float:none; clear:both;">
  <div id="box5" style="float:left;"></div>
  <div id="box6" style="float:left;"></div>
</div>
```

これによって、それぞれ4つの小さなボックスを含む2つの行が作成されます。

8. <div id="box1" style="float:left;"> と</div> タグの間にマウスを置き、Visual Studio ツールボックスに移動し、**C1Expander** コントロールをダブルクリックしてボックスに追加します。
9. この手順を各ボックスについて繰り返し、各ボックスに1つずつ、合計6つの **C1Expander** コントロールをページに追加します (**C1Expander1** ~ **C1Expander4** は上の行、**C1Expander5** ~ **C1Expander8** は下の行)。
10. アプリケーションを実行して次のようなページを確認します。



11. **C1Expander** のヘッダーをクリックすると、**C1Expander** コントロールが縮小することを確認します。縮小した **C1Expander** のヘッダーをクリックすると、コントロールは拡張します。

# Expander for ASP.NET Web Forms

たとえば、コントロールをすべて縮小させると、ページは次のようになります。



この手順では、**C1Expander** コントロールをフォームに追加しました。クイックスタートの次の手順では、それらのコントロールにコンテンツを追加します。

## 手順 2: コントロールへのコンテンツの追加

**C1Expander** コントロールへのコンテンツの追加は、コントロールの本体をクリックして、テキストを入力したり、コントロールを追加したりするだけでできます。以下は、「[手順 1: ページへのコントロールの追加](#)」トピックを完了し、8つの**C1Expander** コントロールをページに追加済みであることが前提となります。

各C1Expanderコントロールのヘッダーと本体の内容を変更するには、以下の手順を実行します。

1. デザインビューで、左上の **C1Expander** コントロールのヘッダーをクリックし、デフォルトの Header というテキストを削除して「上」と入力します。
2. ソースビューに切り替えます。コントロールのXAML マークアップは次のようになることを確認します。Header および Content タグは次のように追加されます。

ソースビュー

```
<cc1:C1Expander ID="C1Expander1" runat="server">
  <Header>上</Header>
  <Content></Content>
</cc1:C1Expander>
```

3. **Content** タグを編集して次のように「ボックス1」と入力します。

ソースビュー

```
<Content>ボックス1</Content>
```

このように **C1Expander** コントロールのボディーにコンテンツが追加されます。

4. 各**C1Expander** コントロールのマークアップを編集し、**Header** と **Content** にテキストを追加して次のようになります。

ソースビュー

```
<div>
  <div id="row1" style="width: 550px; float:none; clear:both;">
    <div id="box1" style="float:left;">
      <cc1:C1Expander ID="C1Expander1" runat="server">
        <Header>上</Header>
        <Content>ボックス1</Content>
      </cc1:C1Expander>
    </div>
    <div id="box2" style="float:left;">
      <cc1:C1Expander ID="C1Expander2" runat="server">
        <Header>上</Header>
        <Content>ボックス2</Content>
      </cc1:C1Expander>
    </div>
    <div id="box3" style="float:left;">
      <cc1:C1Expander ID="C1Expander3" runat="server">
        <Header>下</Header>
```

```

        <Content>ボックス3</Content>
    </cc1:C1Expander>
</div>
<div id="box4" style="float:left;">
    <cc1:C1Expander ID="C1Expander4" runat="server">
        <Header>下</Header>
        <Content>ボックス4</Content>
    </cc1:C1Expander>
</div>
</div>
<div id="row2" style="width: 550px; float:none; clear:both;">
    <div id="box5" style="float:left;">
        <cc1:C1Expander ID="C1Expander5" runat="server">
            <Header>左</Header>
            <Content>ボックス5</Content>
        </cc1:C1Expander>
    </div>
    <div id="box6" style="float:left;">
        <cc1:C1Expander ID="C1Expander6" runat="server">
            <Header>右</Header>
            <Content>ボックス6</Content>
        </cc1:C1Expander>
    </div>
</div>

```

5. アプリケーションを実行すると、次のようになります。

▼ 上	▼ 上	▼ 下	▼ 下
ボ ツ ク ス 1	ボ ツ ク ス 2	ボ ツ ク ス 3	ボ ツ ク ス 4
▼ 左	▼ 右		
ボ ツ ク ス 5	ボ ツ ク ス 6		

この手順では、**C1Expander** コントロールにコンテンツを追加しました。次の手順では、コントロールの外観と動作をカスタマイズします。

## 手順 3: コントロールの外観と動作のカスタマイズ

# Expander for ASP.NET Web Forms

**C1Expander** の外観と動作は、**C1Expander** に組み込まれたデザイン時のサポートによって簡単にカスタマイズできます。以下の手順では、各 **C1Expander** コントロールのサイズとヘッダーを変更し、コントロールの初期状態を縮小に設定し、各コントロールの拡張方向をカスタマイズします。以下は、「[手順 2: コントロールへのコンテンツの追加](#)」のトピックを完了していることが前提となります。

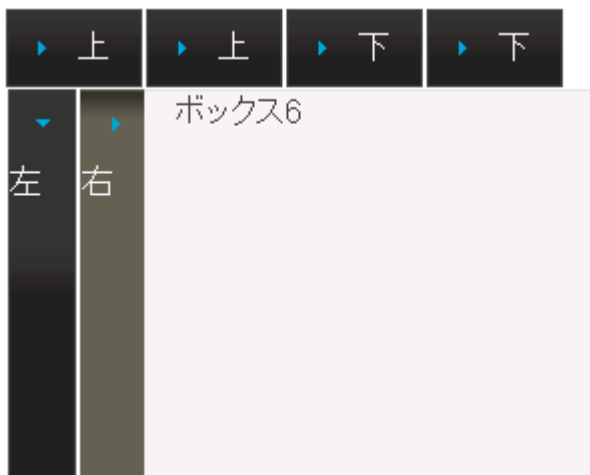
以下の手順を実行します。

1. 左上の **C1Expander** (**ボックス1** と書かれたコントロール) のスマートタグをクリックし、**[C1Expander タスク]** メニューを開きます。
2. **[C1Expander タスク]** メニューで以下のプロパティを設定します。
  - **Expanded** のチェックボックスを OFF にして **Expanded** プロパティを **False** に設定し、**C1Expander** の初期状態を縮小にします。
  - **テーマ** プロパティのドロップダウンを表示して「Rocket」を選択します。
  - **ExpandDirection** のドロップダウンを表示して **C1Expander** のボディーがヘッダーの上の方向に拡張するように「Top」を選択します。
3. その他の **C1Expander** のスマートタグをクリックし、それらの **[C1Expander タスク]** メニューを開いて、以下のプロパティを設定します。
  - **Expanded** のチェックボックスを OFF にして **Expanded** プロパティを **False** に設定し、**C1Expander** の初期状態を縮小にします。
  - **テーマ** プロパティのドロップダウンを表示して「Rocket」を選択します。
  - 各 **C1Expander** のヘッダー内のテキストを反映するように、**ExpandDirection** プロパティを設定します。

たとえば、1行めについては、最初の2つの **C1Expander** コントロールの **ExpandDirection** を **Top** に設定し、あとの2つの **C1Expander** コントロールは **Bottom** に設定されたままにします。2行めについては、最初の2つのコントロールを **Left** に設定し、あとの2つのコントロールを **Right** に設定します。

4. アプリケーションを実行します。**C1Expander** コントロールが当初は縮小して表示され、各コントロールのヘッダーをクリックすると、それぞれヘッダーに示された方向に拡張することを確認します。

例えば、次の図では最後のコントロールのみが展開し、他のすべてが縮小されて表示します。



このように、コントロールの外観と動作をカスタマイズできます。

おめでとうございます。このクイックスタートは完了しました。



## C1Expander の要素

このセクションでは、**C1Expander** コントロールを構成する要素の概要について視覚的に説明します。トピックは、このコントロールの異なる側面を表す2つの異質な要素、ヘッダー要素とコンテンツ要素に分けられます。

### ヘッダー要素

**C1Expander** のヘッダー領域はコントロールの上部に表示され、当初は空白で表示します。**C1Expander** のヘッダー領域には、ヘッダーテンプレートを使用して内容(テキスト、HTML コンテンツ、画像、他のコントロールなど)を追加できます。単純なドラッグ&ドロップ操作で、デザイン時にコントロール上でコントロールのヘッダー領域の各要素の追加と移動ができます。

以下の画面は、**C1Expander** コントロールのヘッダー領域を示しています。



ヘッダーの拡張と縮小の方向を示す拡張/縮小インジケータが表示されていることに注意してください。

次の要素を使用して、**C1Expander** コントロールのヘッダー領域をカスタマイズできます。

- ヘッダー

### ヘッダー

デザイン時にコンテンツをコントロールのヘッダー領域に追加できます。コンテンツを追加するには、コントロールのヘッダー領域をクリックし、そこに通常どおりテキストを入力したり、画像やコントロールを追加したりするだけです。

コンテンツを **C1Expander** のヘッダーに追加してソースビューに切り替えると、そのコンテンツが<Header> タグ内の<cc1:C1Expander> タグの内部に置かれていることがわかります。

#### ソースビュー

```
<cc1:C1Expander ID="C1Expander1" runat="server">
  <Header>
    ヘッダー
  </Header>
  <Content>
    コンテンツ
  </Content>
</cc1:C1Expander>
```

## コンテンツ要素

**C1Expander** のコンテンツ領域は、当初は Content というテキストだけの空領域で構成されています。コンテンツ領域では、カスタム HTML コンテンツからはリッチテキスト、**ContentUrl** プロパティからは URL リンク、コンテンツテンプレートからは任意のコントロールを追加できます。単純なドラッグ & ドロップ操作で、デザイン時にコントロール上でコントロールのコンテンツ領域の各要素の追加と移動ができます。

以下の画面は、**C1Expander** コントロールのコンテンツ領域を示しています。



次の要素を使用して、**C1Expander** コントロールのコンテンツ領域をカスタマイズできます。

- コンテンツ
- ContentUrl

## コンテンツ

デザイン時にコンテンツをコントロールに追加できます。コンテンツを追加するには、コントロールのコンテンツ領域をクリックし、そこに通常どおりテキストを入力したり、画像やコントロールを追加したりするだけです。

コンテンツを **C1Expander** コントロールに追加してソースビューに切り替えると、そのコンテンツが `<Content>` タグ内の `<cc1:C1Expander>` タグの内部に置かれていることがわかります。

### ソースビュー

```
<cc1:C1Expander ID="C1Expander1" runat="server">
  <Header>
    ヘッダー
  </Header>
  <Content>
    コンテンツ
  </Content>
</cc1:C1Expander>
```

## ContentUrl

**ContentUrl** プロパティを使用して、**C1Expander** コントロールのコンテンツ領域内に外部コンテンツを表示するように設定できます。詳細については、「[外部コンテンツの表示](#)」を参照してください。

## デザイン時のサポート

以下のセクションでは、**C1Expander** のデザイン時環境を使用して **C1Expander** コントロールを設定する方法を説明します。

## C1Expander スマートタグ

Visual Studio では、**C1Expander** コントロールにスマートタグが用意されています。スマートタグとは、**C1Expander** で最もよく使用されるプロパティを提供するショートカットタスクメニューです。

**C1Expander** コントロールでは、スマートタグによって、よく使用されるプロパティにすばやく簡単にアクセスできます。

[**C1Expander タスク**]メニューにアクセスするには、**C1Expander** コントロールの右上端にあるスマートタグをクリックします。これによって、[**C1Expander タスク**]メニューが開きます。

[**C1Expander タスク**]メニューは次のように動作します。

- 拡張**  
 [拡張]チェックボックスを ON にすると、**Expanded** プロパティが **True** に設定され、**C1Expander** コントロールはページロード時に最初から拡張して表示されます。デフォルトでは、**Expanded** は **True** です。このコントロールを当初は縮小して表示する場合は、このチェックボックスを OFF にします。
- 拡張の方向**  
 [拡張の方向]ドロップダウンリストを選択することで、**C1Expander** コントロールの拡張方向を変更できます。**ExpandDirection** プロパティは、**Top**、**Right**、**Bottom**、**Left** のいずれかに設定できます。デフォルトでは、**ExpandDirection** プロパティは **Bottom** に設定されています。
- テーマ**  
 [テーマ]ドロップダウンリストを選択することで、各種の視覚スキームから選択できます。詳細については、「[テーマ](#)」を参照してください。
- 新しいテーマの作成**  
 [新しいテーマの作成]オプションをクリックすると、**ThemeRoller for Visual Studio** が開きます。したがって、開発環境内でテーマをカスタマイズすることができます。アプリケーションで **ThemeRoller for Visual Studio** を使用する方法については、「[ThemeRoller for Visual Studio](#)」を参照してください。
- CDN を使用**  
 [CDN を使用]チェックボックスを ON にすると、CDN からクライアントリソースがロードされます。これはデフォルトで OFF です。
- CDN パス**  
 CDN の URL パスを表示します。
- Bootstrap の使用**  
 [Bootstrap の使用]オプションを選択すると、コントロールに Bootstrap テーマを適用することができます。アプリケー

# Expander for ASP.NET Web Forms

ションで Bootstrap テーマを使用する方法については、「[Bootstrap for ASP.NET Web Forms クイックスタート](#)」を参照してください。

- **バージョン情報**

[[バージョン情報](#)]をクリックすると、製品のバージョン情報を確認できるダイアログボックスが表示されます。

## C1Expander コンテキストメニュー

リスト上の任意の場所を右クリックして、**C1Expander** のコンテキストメニューを表示します。これは、Visual Studio がすべての .NET コントロールに提供しているコンテキストメニューですが、**C1Expander** のコンテキストメニューは、機能がいくつか追加されています。



コンテキストメニューのコマンドは、以下のように動作します。

- **スマートタグの表示**

この項目をクリックすると、[**C1Expander タスク**]メニューが表示されます。スマートタグの使用法や[タスク]メニューで提供される機能の詳細については、「[C1Expander スマートタグ](#)」を参照してください。

## C1Expander の外観

**C1Expander** コントロールの外観をカスタマイズするには、いくつかのオプションがあります。以下のセクションでは、組み込みのテーマを使用してコントロールの外観を変更する方法や、**C1Expander** コントロールの他の要素をカスタマイズする方法を説明します。

## テーマ

**C1Expander** には、コントロールの外観を簡単に変更できるテーマが含まれています。このコントロールには、6種類の組み込みテーマが用意されており、それらを使用してアプリケーションをすばやくスタイルできます。[**C1Expander タスク**]メニュー、プロパティウィンドウ、およびコードを使用して、簡単にテーマを変更できます。視覚スタイルの詳細については、「[テーマの設定](#)」トピックを参照してください。

**Expander for ASP.NET Web Forms** には、以下のテーマが含まれています。

視覚スタイル	拡張プレビュー	縮小プレビュー
arctic		
aristo		
cobalt		
midnight		
rocket		
sterling		

## ヘッダーとコンテンツのテンプレート

**C1Expander** コントロールのヘッダー領域とコンテンツ領域の内容は、テンプレートを使用して制御できます。**C1Expander** には、Header と Content という2つの特別なプロパティがあります。これらを使用すれば、**C1Expander** コントロールのヘッダー領域とコンテンツ領域にテンプレートを適用できます。ヘッダーとコンテンツのテンプレートは、アプリケーションの**C1Expander** コントロールをさらにカスタマイズし、コントロールのヘッダー領域とコンテンツ領域に内容を追加する際に役立ちます。

## 拡張と縮小

**C1Expander** コントロールの表示の仕方やコントロールの拡張／縮小アニメーションの処理をカスタマイズするには、いくつかのオプションがあります。以下のセクションでは、初期の拡張状態の設定、コントロールの拡張方向の設定、拡張／縮小の各種アニメーション効果の設定、および拡張／縮小の持続時間とイー징ングの設定について、それぞれ方法を説明します。

## 初期の拡張状態

フォーム上での **C1Expander** コントロールの表示の仕方は、最初に **Expanded** プロパティを使用して選択できます。デフォルトでは、**Expanded** は True に設定され、コントロールはページロード時に最初から拡張して表示されます。**Expanded** プロパティを False に設定すれば、コントロールがページロード時に縮小して表示されるように設定できます。

そのため、たとえば、Aristo テーマでは次のようになります。

Expanded の設定	初期状態のプレビュー
True (デフォルト)	
False	

**Expanded** プロパティは、[**C1Expander タスク**]メニュー、プロパティウィンドウ、ソースビュー、およびコードで設定できます。**Expanded** プロパティを[**C1Expander タスク**]メニューで設定するには、[**拡張**]ボックスを ON または OFF にします。



C1Expander タスク

拡張

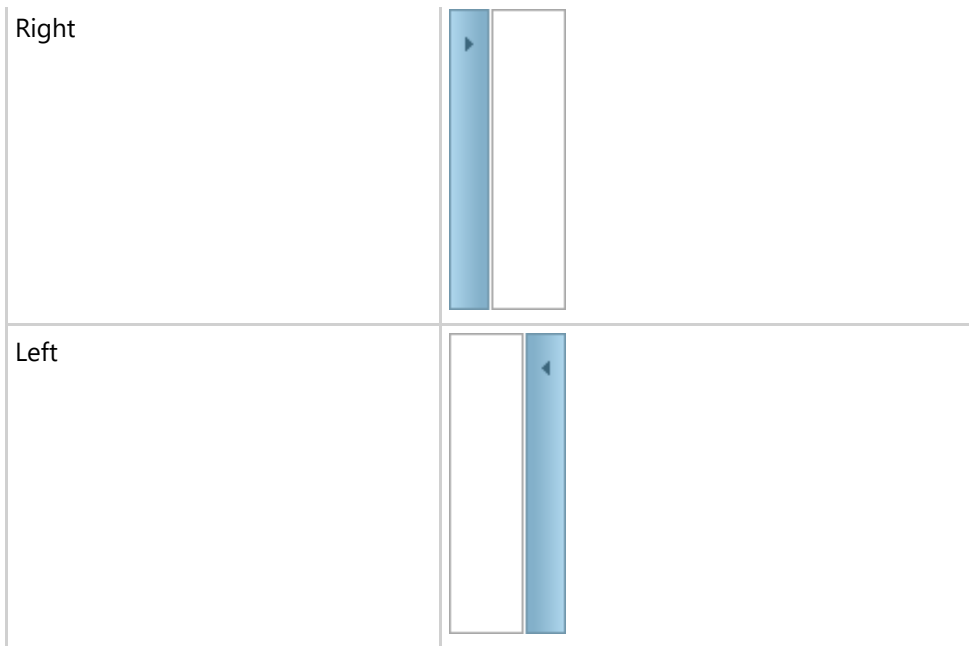
拡張方向 Bottom

## 拡張の方向

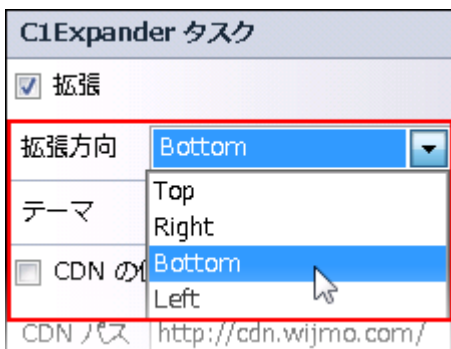
C1Expander には、**C1Expander** プロパティを使用して拡張の方向を指定するオプションが含まれています。コントロールの拡張方向が設定されるほか、**ExpandDirection** を変更すると、コントロールのコンテンツ領域に対するヘッダーの配置も変わります。デフォルトでは、**ExpandDirection** プロパティは **Bottom** に設定され、コントロールは上から下へ拡張します。

そのため、たとえば、Aristo テーマでは次のようになります。

ExpandDirection の設定	プレビュー
Bottom (デフォルト)	
Top	



**ExpandDirection** プロパティは、[C1Expander タスク]メニュー、プロパティウィンドウ、ソースビュー、およびコードで設定できます。**ExpandDirection** プロパティを[C1Expander タスク]メニューで設定するには、[拡張の方向]ドロップダウンボックスを選択します。



## タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプは、ASP.NET のプログラミングに習熟し、コントロールの使用方法を全般的に理解しているユーザーを対象としています。ヘルプで概説されている手順を実行すれば、**C1Expander** のさまざまな機能を実証するプロジェクトを作成して、**C1Expander** の機能を理解できます。

各トピックでは、**C1Expander** コントロールを使用した特定のタスクのソリューションを示します。また、タスク別ヘルプの各トピックでは、ユーザーが ASP.NET の新しいプロジェクトを作成して適当なアセンブリに参照を追加していることを前提とします。

## コードによる C1Expander の作成

コードで **C1Expander** コントロールを作成するのは、とても簡単です。以下の手順では、**PlaceHolder** コントロールをページに追加し、インポートステートメントを追加し **C1Expander** を追加してカスタマイズし、その **C1Expander** コントロールを **PlaceHolder** に追加します。

以下の手順を実行します。

1. デザインビューで、Visual Studio ツールボックスに移動し、ページに **PlaceHolder** コントロールを追加します。
2. ページをダブルクリックして **Page\_Load** イベントを作成し、コードビューに切り替えます。
3. コードエディタで冒頭に次のステートメントを追加し、必要な名前空間をインポートします。

### Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
Imports Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Expander
```

### C# コードの書き方

```
C#
using Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Expander;
```

4. 次のコードを **Page\_Load** イベントに追加し、**C1Expander** コントロールを作成してカスタマイズします。

### Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
' 新しい C1Expander を作成
Dim C1E As New C1Expander
' コントロールのサイズ、外観、およびコンテンツを設定
C1E.VisualStudio = "Office2007Blue"
C1E.Height = 200
C1E.Width = 200
C1E.ContentUrl = "http://www.wikipedia.com/"
' C1Expander を PlaceHolder コントロールに追加
Placeholder1.Controls.Add(C1E)
```

### C# コードの書き方

```
C#
// 新しい C1Expander を作成
C1Expander C1E = new C1Expander();
```



```
// コントロールのサイズ、外観、およびコンテンツを設定
C1E.VisualStudio = "Office2007Blue";
C1E.Height = 200;
C1E.Width = 200;
C1E.ContentUrl = "http://www.wikipedia.com/";
// C1Expander を Placeholder コントロールに追加
Placeholder1.Controls.Add(C1E);
```

アプリケーションを実行して、以下を確認します。

**C1Expander** コントロールが作成され、外部コンテンツが表示されます。



## PostBackの設定

**C1Expander** でサーバーへのPostBackを自動的に行うかどうかは、**AutoPostBack** プロパティを使用して簡単に設定できます。デフォルトでは、**AutoPostBack** プロパティは **False** に設定され、**C1Expander** コントロールはサーバーへのPostBackを自動的に行いません。**C1Expander** でサーバーへのPostBackを行うようにするには、**AutoPostBack** を **True** に設定します。

### ソースビューの場合

ソースビューで、`AutoPostBack="True"` を `<cc1:C1Expander>` タグに追加します。その結果、次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Expander ID="C1Expander1" runat="server" AutoPostBack="True">
```

### デザインビューの場合

デザインビューで **C1Expander** コントロールを選択し、プロパティウィンドウで **AutoPostBack** プロパティを **True** に設定します。

### コードの場合

次のコードを **Page\_Load** イベントに追加し、**AutoPostBack** プロパティを **True** に設定します。

#### Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
Me.C1Expander1.AutoPostBack = True
```

#### C#コードの書き方

# Expander for ASP.NET Web Forms

C#

```
this.C1Expander1.AutoPostBack = true;
```

## キーボードサポートの追加

**C1Expander** コントロールでは、コントロールへのキーボードによるアクセスを簡単に追加できます。**AccessKey** プロパティを使用して、ユーザーがコントロールにアクセスする方法やユーザーインターフェース内を移動する方法を設定できます。

以下の例では、実行時に[ALT]キーを押しながら[E]キーを押すと **C1Expander** コントロールがフォーカスされるように、**AccessKey** プロパティを **e** に設定します。

### ソースビューの場合

ソースビューで、**AccessKey="e"** を `<cc1:C1Expander>` タグに追加します。その結果、次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Expander ID="C1Expander1" runat="server" AccessKey="e">
```

### デザインビューの場合

デザインビューで **C1Expander** コントロールを選択し、プロパティウィンドウで **AccessKey** プロパティを **e** に設定します。

### コードの場合

次のコードを **Page\_Load** イベントに追加し、**AccessKey** プロパティを **e** に設定します。

### Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
Me.C1Expander1.AccessKey = "e"
```

### C#コードの書き方

C#

```
this.C1Expander1.AccessKey = "e";
```

## テーマの設定

このコントロールには、アプリケーションのスタイルを指定するテーマがいくつか組み込まれています。使用可能なスタイルの詳細については、「[テーマ](#)」を参照してください。テーマは、デザインビューを使用して容易に変更できます。

### タスクメニューの場合

テーマは、次のように[**C1Expander タスク**]メニューからアクセスできます。

1. **C1Expander** のスマートタグをクリックし、[**C1Expander タスク**]メニューを開きます。
2. [テーマ]ドロップダウンボックスをクリックし、適用するスタイル(**Midnight** など)を選択します。  
選択したスタイルはコントロールに適用されます。

### プロパティウィンドウの場合

適用するテーマは、次のようにプロパティウィンドウから選択できます。

1. **C1Expander** をクリックして選択します。
2. プロパティウィンドウに移動し、**Theme** プロパティの隣にあるドロップダウン矢印を選択します。
3. 適用するスタイル(**Midnight** など)を選択します。  
選択したテーマは **C1Expander** に適用されます。

## コントロールのサイズ変更

**C1Expander** の高さと幅は、**Height** プロパティと **Width** プロパティを設定することによって簡単に変更できます。デフォルトでは、コントロールの高さは **200px** に設定され、幅は **100px** に設定されます。コントロールの高さと幅は、デザインビュー、ソースビュー、[**C1Expander タスク**]メニュー、プロパティウィンドウ、またはコードを使用して簡単に変更できます。

### ソースビューの場合

ソースビューで、<cc1:C1Expander> タグ内の `Height="150px" Width="150px "` を追加して、コントロールの高さと幅を任意のサイズに設定します。次に例を挙げます。

#### ソースビュー

```
<cc1:C1Expander ID="C1Expander1" runat="server" Height="150px" Width="150px">
```

上記の設定によって、コントロールは高さ 150 ピクセル、幅 150 ピクセルにサイズ変更されます。

### プロパティウィンドウの場合

プロパティウィンドウで、次のように **Height** プロパティと **Width** プロパティを変更して、ヘッダーの高さと幅を設定できます。

1. **C1Expander** をクリックして選択します。
2. プロパティウィンドウに移動し、必要場合は**レイアウトノード**を拡張して、**Height** プロパティと **Width** プロパティを表示します。
3. [**高さ**]の隣に表示されているコントロールの高さを、任意のサイズで上書きします。(例えば、150px など)
4. [**幅**]の隣に表示されているコントロールの高さを、任意のサイズで上書きします。(例えば、150px など)
5. [ENTER]キーを押すか、プロパティウィンドウの外でクリックして、設定した高さと幅を **C1Expander** コントロールに適用します。

### コードの場合

次のコードを **Page\_Load** イベントに追加し、**Height** プロパティと **Width** プロパティを 150 ピクセルに設定します。

#### Visual Basicコードの書き方

##### Visual Basic

```
Me.C1Expander1.Height = 150  
Me.C1Expander1.Width = 150
```

#### C#コードの書き方

##### C#

```
this.C1Expander1.Height = 150;  
this.C1Expander1.Width = 150;
```

## 外部コンテンツの表示

**ContentUrl** プロパティを使用して、**C1Expander** コントロールで外部コンテンツを表示できます。これは、プロジェクト内の別

# Expander for ASP.NET Web Forms

の Web ページのコンテンツや、他のプロジェクトの Web サイトのコンテンツさえも、**C1Expander** コントロールに表示できることを意味します。**ContentUrl** プロパティは、ソースビュー、プロパティウィンドウ、またはコードを使用して簡単に設定できます。

## ソースビューの場合

ソースビューで、<cc1:C1Expander> タグ内に **ContentUrl** を追加し、**C1Expander** コントロールで表示する外部 URL を設定します。次に例を挙げます。

ソースビュー

```
<cc1:C1Expander ID="C1Expander1" runat="server" ContentUrl="http://www.google.com/">
```

記の設定によって、**C1Expander** で Google Web サイトが表示されるように設定されます。

## デザインビューの場合

**ContentUrl** プロパティは、次のようにプロパティウィンドウを使用して、**C1Expander** で表示する URL に変更できます。

1. **C1Expander** をクリックして選択します。
2. プロパティウィンドウに移動し、必要な場合は **その他** ノードを拡張して、**ContentUrl** プロパティを表示します。
3. [**ContentUrl**] の隣に、コントロールで表示するページの URL (http://www.google.com/ など) を入力します。
4. [ENTER] キーを押すか、プロパティウィンドウの外でクリックして、設定した **ContentUrl** を **C1Expander** コントロールに適用します。

## コードの場合

次のコードを **Page\_Load** イベントに追加し、**C1Expander** コントロールで外部コンテンツが表示されるように **ContentUrl** プロパティを設定します。

### Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
Me.C1Expander1.ContentUrl = "http://www.google.com/"
```

### C#コードの書き方

C#

```
this.C1Expander1.ContentUrl = "http://www.google.com/";
```